

2021年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年8月4日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2020年8月4日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- I .2021年3月期第1四半期の決算及び事業の概況
- II .2021年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2021年3月期第1四半期の決算及び事業の概況





▶ 第16回 定時株主総会の開催

- 2020年6月21日、新型コロナウイルス感染防止により会社説明会の見送りやお土産のとりやめ、議事進行の短縮等、従来の形式を変更し第16回定時株主総会を開催
- ご来場いただいた株主様からは、当社グループへのご質問や叱咤激励を頂き、その期待に応えるべく、第17期は顧客とのリレーションをより一層高めていく

▶ 新型コロナウイルスの影響について

- 在宅勤務や時差出勤等を推奨し、従業員の安全を最優先にしたうえでサービスを継続
- 世界的な金利低下や海外金融法人の取引の減少によりトレーディング損益が減少
- 空港外貨受取サービスの一時停止や海外渡航需要の蒸発によるマネパカードの利用減少により受入手数料が減少

▶ 国内FX取引は立て直し期へ

- お客様への提示スプレッドは維持しつつ、お客様へのロイヤリティや満足度向上を図る施策を展開し、当社代表によるオンライン投資塾「H2MM」は稼働顧客からも多く参加
- FX取引高は前年同四半期比で約25%の増加となり高水準で推移

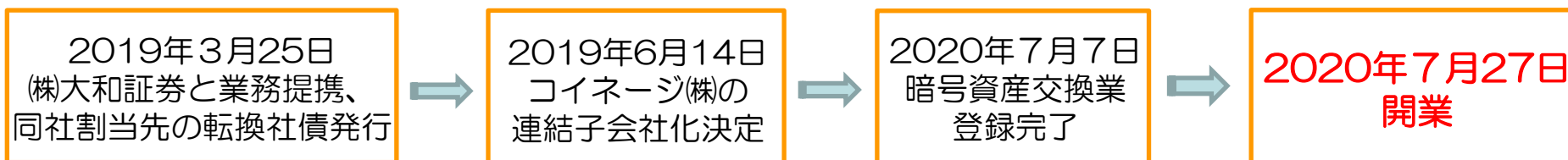
▶ 親会社株主に帰属する当期純損失 223百万円

- 営業収益は、外国為替取引高が前年同四半期と比べ25.6%増加したものの、主としてコロナ禍による世界的な金利低下の影響を受けトレーディング損益が165百万円減少（前年同四半期比14.2%減）したこと等により1,030百万円（同21.1%減）に。
- 売上原価が65百万円減少（前年同四半期比86.4%減）した一方、販売費・一般管理費が109百万円増加（同9.9%増）し、営業損失は235百万円（前年同四半期は営業利益75百万円）、経常損失は235百万円（前年同四半期は経常利益60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は223百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円）に。

【後発事象】コインージ社（暗号資産）の開業

- 2020年7月 7日 暗号資産交換業者登録が完了（関東財務局長 第00021号）
- 7月20日 10億円の増資（総額約20億円の増資が完了）
- 7月27日 暗号資産交換業サービス提供開始

【沿革】



- 代表取締役社長CEO 奥山 泰全
- 資本金29億49百万円（7月20日現在）
- 取扱い暗号資産 ビットコイン（BTC）
- 従業員25名（6月末現在、役員及び兼務者を除く）

マネーパートナーズ社からの送客を中心に顧客を集客し、
 1年内外での単月黒字化を目指す！



2013年3月期以降の四半期業績推移

■ 営業収益と経常利益の推移

(単位：百万円)

2,500

2,000

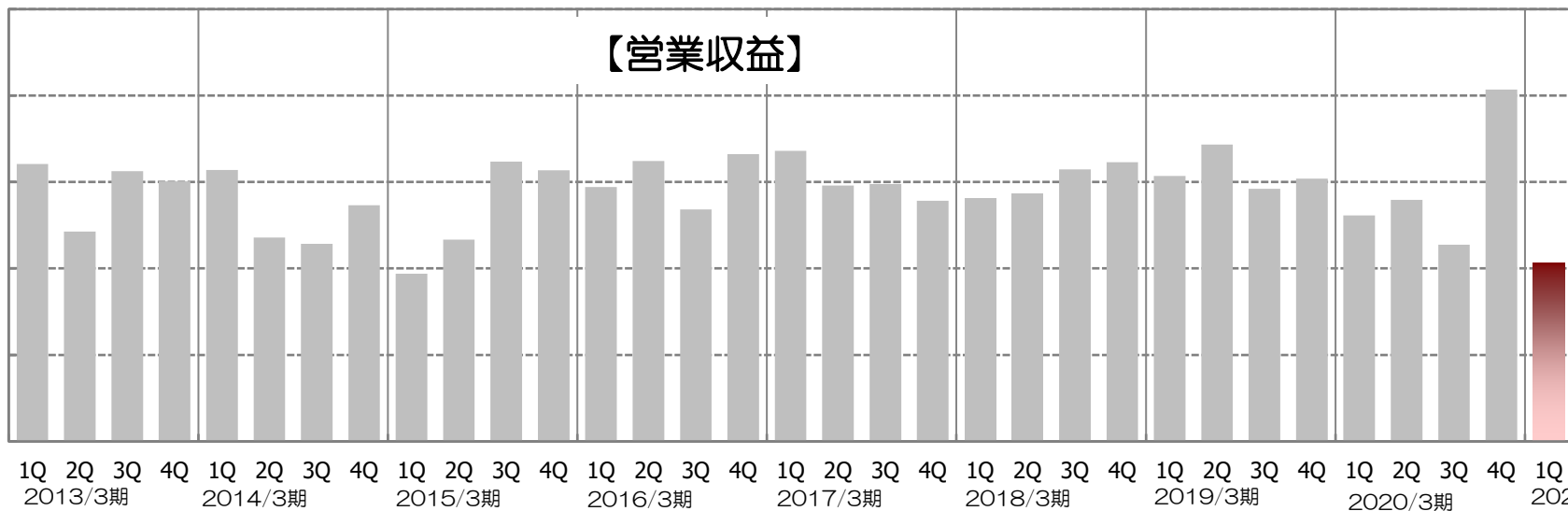
1,500

1,000

500

0

【営業収益】



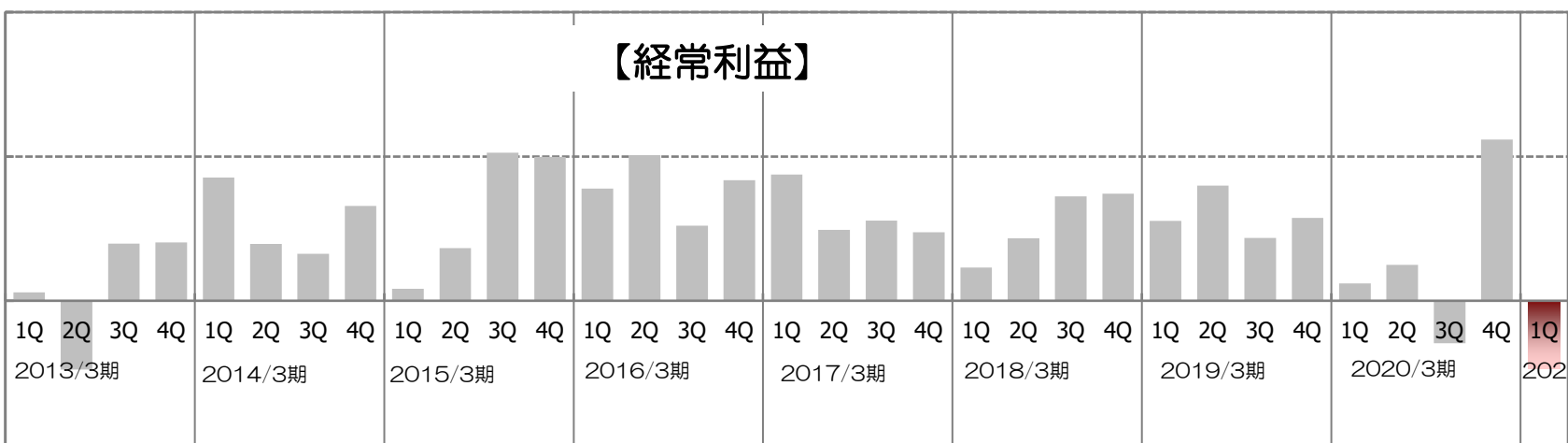
(単位：百万円)

1,000

500

0

【経常利益】





2021年3月期第1四半期 決算概況と影響ファクター（前四半期比）

	2020/3期 4Q 【2020/1 ~ 2020/3】	2021/3期 1Q 【2020/4 ~ 2020/6】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	3,117億通貨単位	2,818億通貨単位	▲9.6%
営業収益	2,034百万円	1,030百万円	▲49.4%
純営業収益	1,859百万円	976百万円	▲47.5%
経常利益	559百万円	▲235百万円	—

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高 FX収益性 販管費 

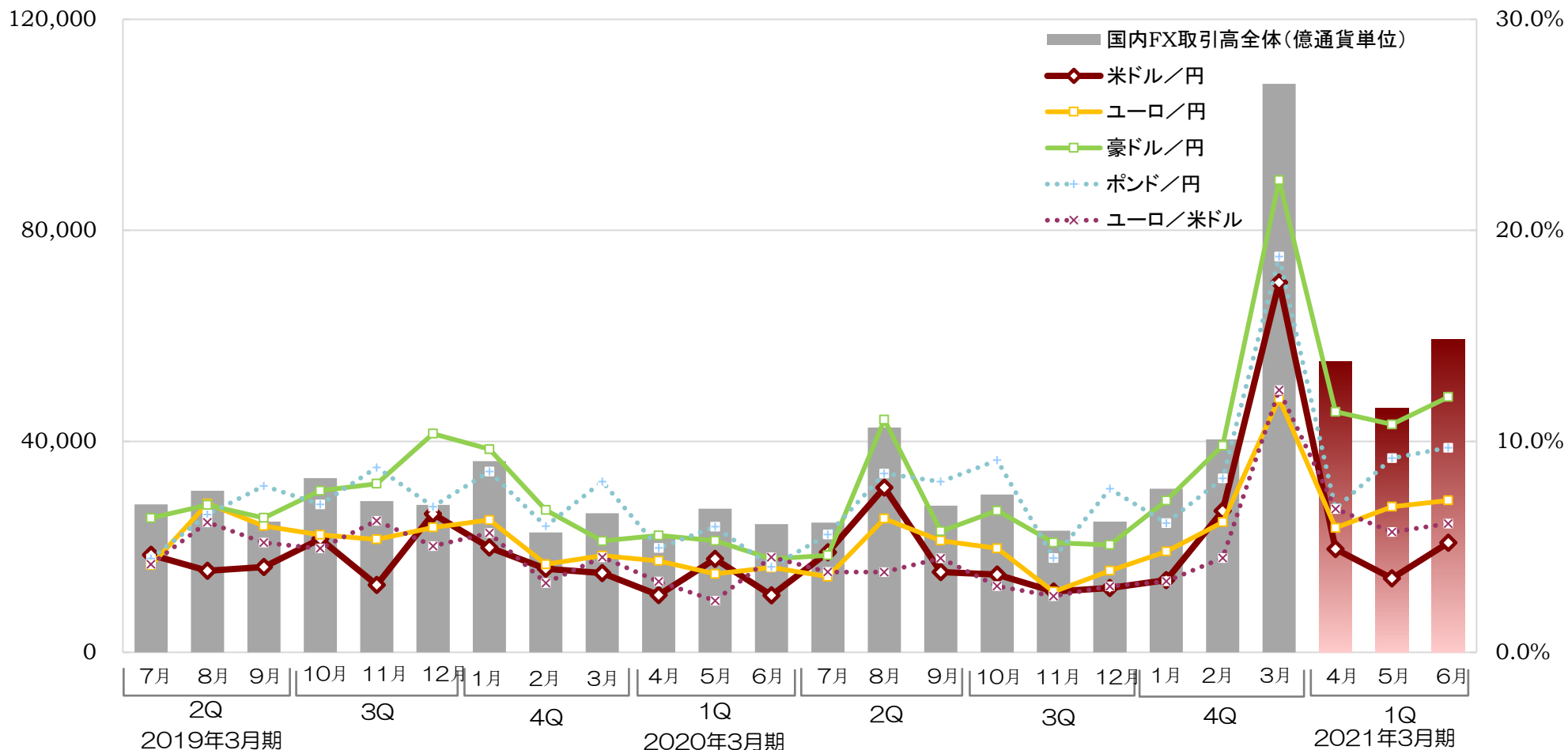
- 6月は1,000億通貨を超える取引高となったものの、4月以降はコロナ相場による新興国通貨の大幅下落の影響を受け取引顧客数が減少したことや、海外金融法人の取引が減少したことから9.6%減少。
- 新型コロナの影響による世界的な金利低下により収益性は大きく低下。
- マネパカードの利用減少による変動費の減少や広告宣伝費の見直しによる減少、及び前四半期に信用保証状の更新費用（季節的要因）があったことから6.3%減少。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



外国為替市場の変動率は、米ドル/円やユーロ/円、ユーロ/米ドル等流動性の高い通貨ペアを中心に比較的高い水準となったものの、3月のコロナ相場から落ち着きを取り戻し、結果、四半期ベースの国内FX取引高は前四半期比約10%減少となった。

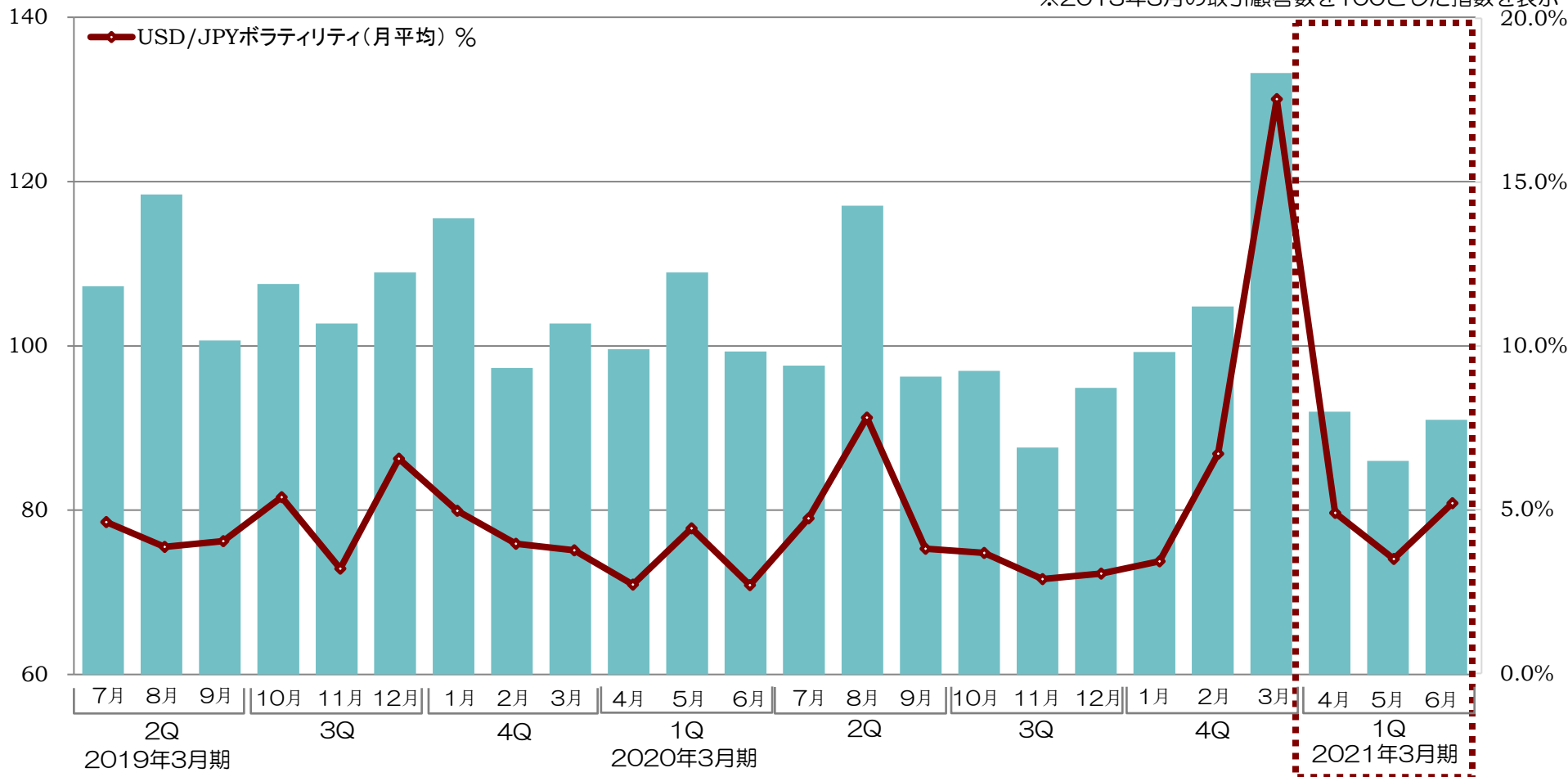


取引顧客数の推移

Money Partners Group

■ 当社FX取引顧客数（※）及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



外国為替相場の変動率は新型コロナ禍以前より比較的高い水準で推移したものの、取引顧客数は前四半期から一転し、コロナ相場による新興国通貨の大幅下落の影響を受け減少となる。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

(単位：百万円)

	2019/3期			2020/3期				2021/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	1,716	1,460	1,519	1,305	1,396	1,136	2,034	1,030	▲49.4%
受入手数料	24	23	21	25	25	17	16	7	▲52.5%
トレーディング損益	1,500	1,327	1,389	1,161	1,287	1,091	1,860	995	▲46.5%
金融収益	18	23	21	24	16	15	8	2	▲69.6%
その他の売上高	172	86	86	94	67	11	148	23	▲83.8%
金融費用	45	46	48	50	47	48	46	43	▲7.3%
売上原価	152	72	73	76	54	3	128	10	▲92.0%
純営業収益	1,518	1,341	1,397	1,178	1,293	1,084	1,859	976	▲47.5%
販売費・一般管理費	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	1,212	▲6.3%
営業利益	397	217	281	75	129	▲147	564	▲235	—
経常利益	399	217	287	60	124	▲148	559	▲235	—
税金等調整前四半期純利益	349	217	306	60	124	▲228	559	▲235	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	223	141	219	38	57	▲190	344	▲223	—

営業収益経常利益率	23.3%	14.9%	18.9%	4.6%	8.9%	▲13.1%	27.5%	▲22.9%
-----------	-------	-------	-------	------	------	--------	-------	--------

営業収益は、新型コロナウイルスの影響による世界的な金利低下や海外金融取引の減少によるトレーディング損益の減少により1,030百万円となった。

損益は、システム関連売上高の減少に伴う売上原価や販売費・一般管理費が減少したものの、営業収益の減少が影響し、営業利益及び経常利益は▲235百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は▲223百万円となった。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

(単位：百万円)

	2019/3期			2020/3期				2021/3期	前四半期 対比増減
	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
取引関係費	344	390	362	349	359	338	398	313	▲21.3%
人件費	242	231	238	227	274	261	295	291	▲1.5%
不動産関係費	165	164	172	166	165	182	178	168	▲5.5%
事務費	238	217	212	228	225	252	202	224	10.9%
減価償却費	91	87	87	86	93	148	151	153	1.5%
租税公課	26	21	29	20	30	28	43	31	▲27.3%
貸倒引当金繰入れ	▲0	▲0	0	—	▲0	▲0	1	▲1	—
その他	12	10	11	23	14	21	23	30	29.2%
販売費・一般管理費合計	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	1,232	1,294	1,212	▲6.3%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	114	160	148	142	151	147	153	108	▲28.9%
システム関連費用(※2)	343	320	317	317	315	346	296	320	8.1%

※1 取引関係費の一部となります。

※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

事務費(増加) : コイネージ社の開業準備に伴うシステム保守費等の増加

取引関係費(減少) : 広告宣伝費の見直しによる減少や、海外旅行需要の蒸発によるマネパカードの利用減少に伴う支払手数料の減少



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移

マーケティングコスト
■ 広告宣伝費

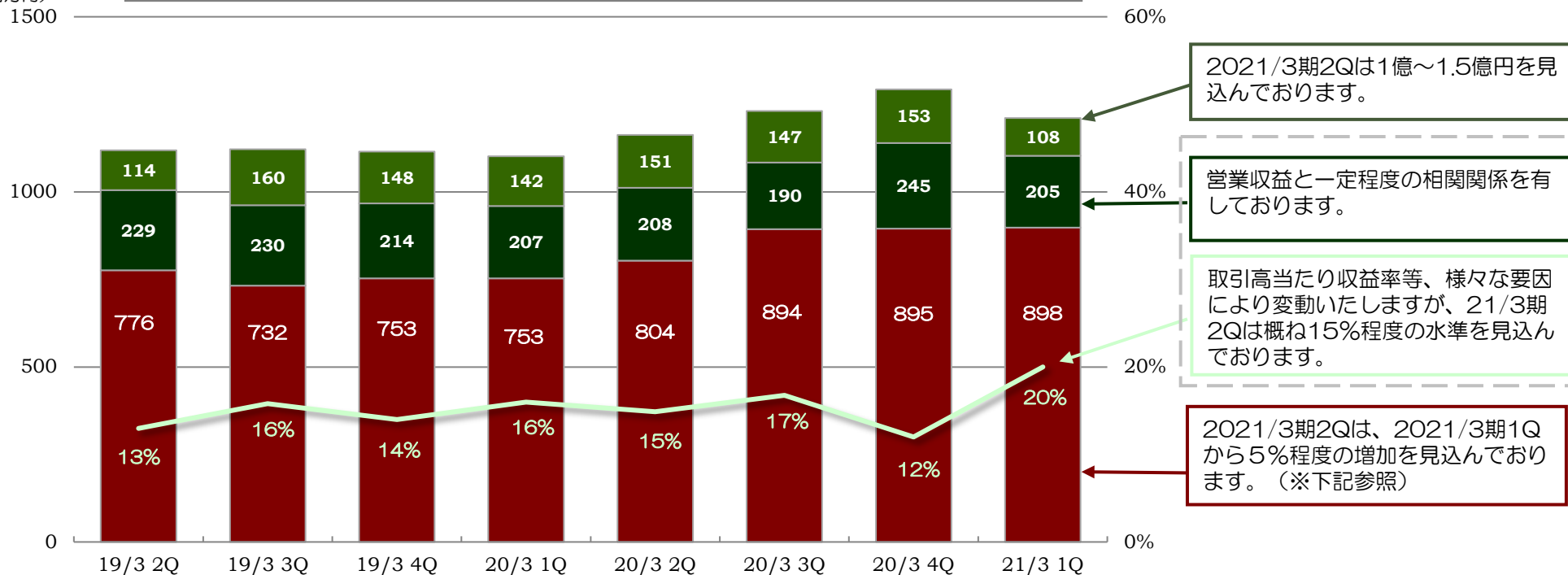
基礎固定費
■ (変動費以外の販売費・一般管理費)

※コインネージ開業に向け、一定のコストを含めております。

マーケティングコスト以外の変動費
■ 広告宣伝費以外の取引関係費

営業収益に対する割合 (%)

コスト
(百万円)
1500



2021/3期2Qは1億~1.5億円を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率等、様々な要因により変動いたしますが、21/3期2Qは概ね15%程度の水準を見込んでおります。

2021/3期2Qは、2021/3期1Qから5%程度の増加を見込んでおります。(※下記参照)

2021/3期2Qはコインネージ社の開業に伴い、2021/3期1Q比で約50百万円の全体的な費用の増加を見込んでおります。



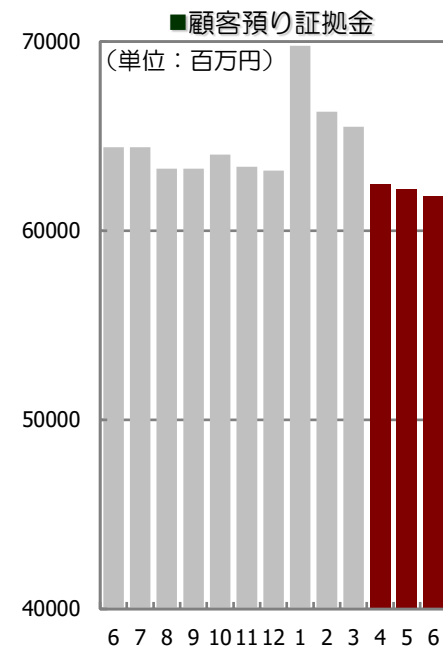
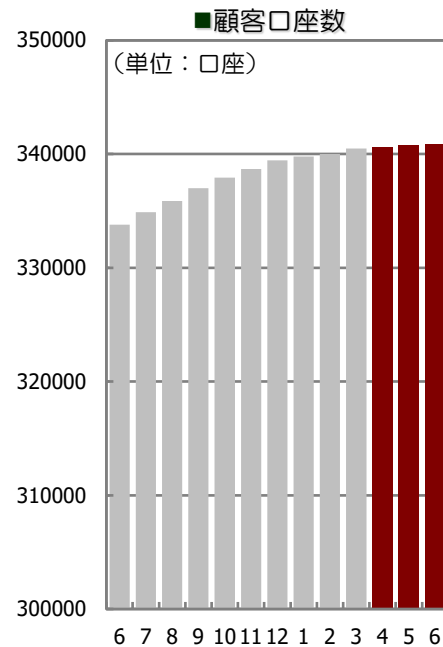
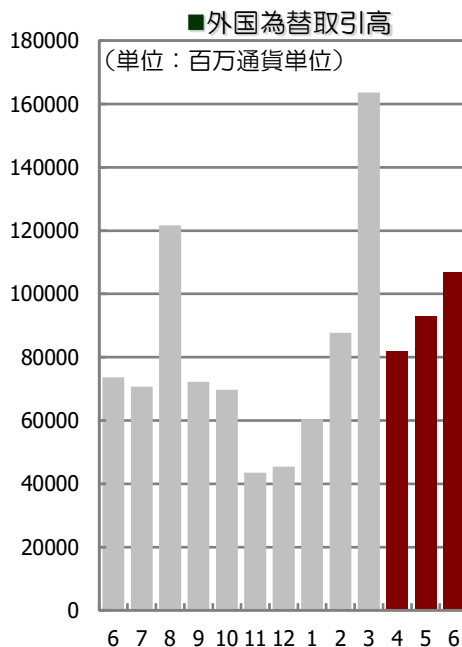
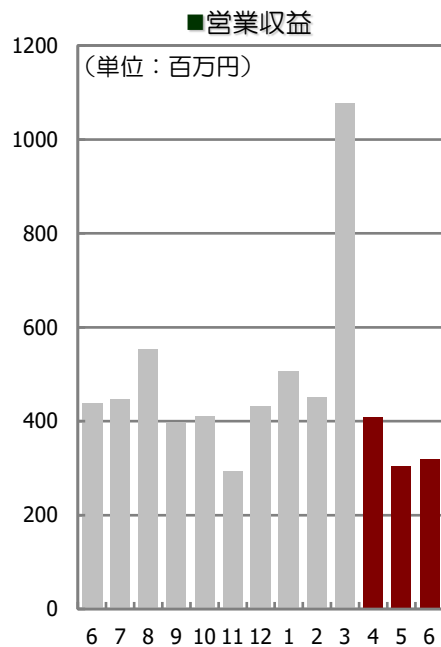
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2020/3期										2021/3期		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020/1月	2月	3月	4月	5月	6月
営業収益 (百万円)	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077	407	303	318
外国為替取引高 (百万通貨単位)	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604	82,072	92,851	106,893
顧客口座数 (口座)	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483	340,605	340,735	340,825
顧客預り証拠金 (百万円)	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510	62,460	62,004	61,807
内、一般顧客 (BtoB以外)	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895	60,227	59,654	59,267

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

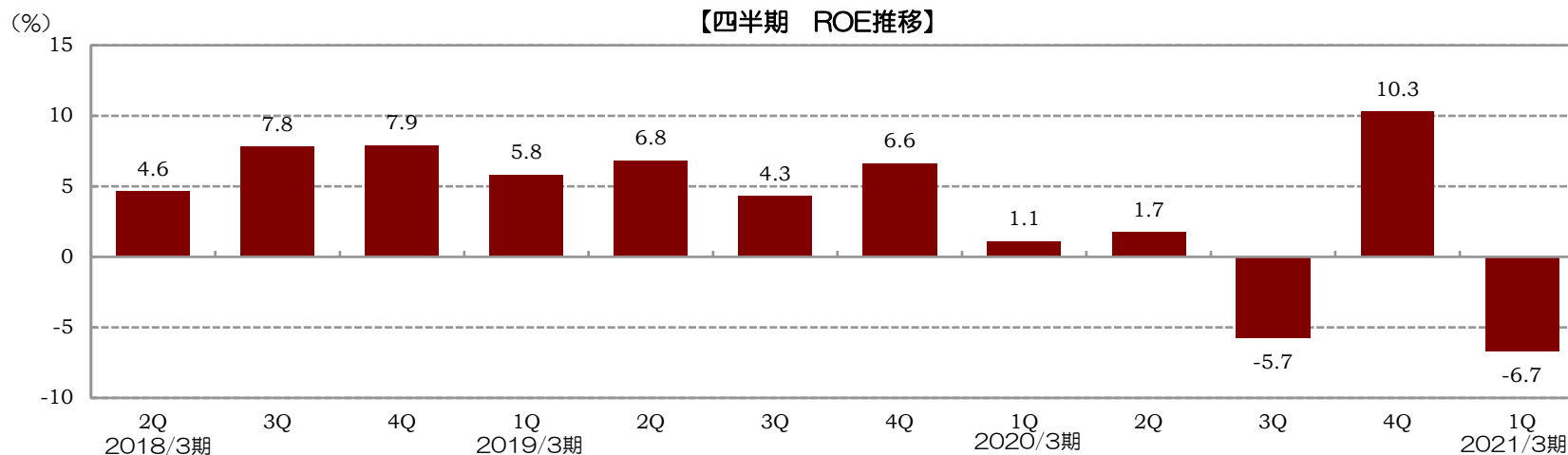




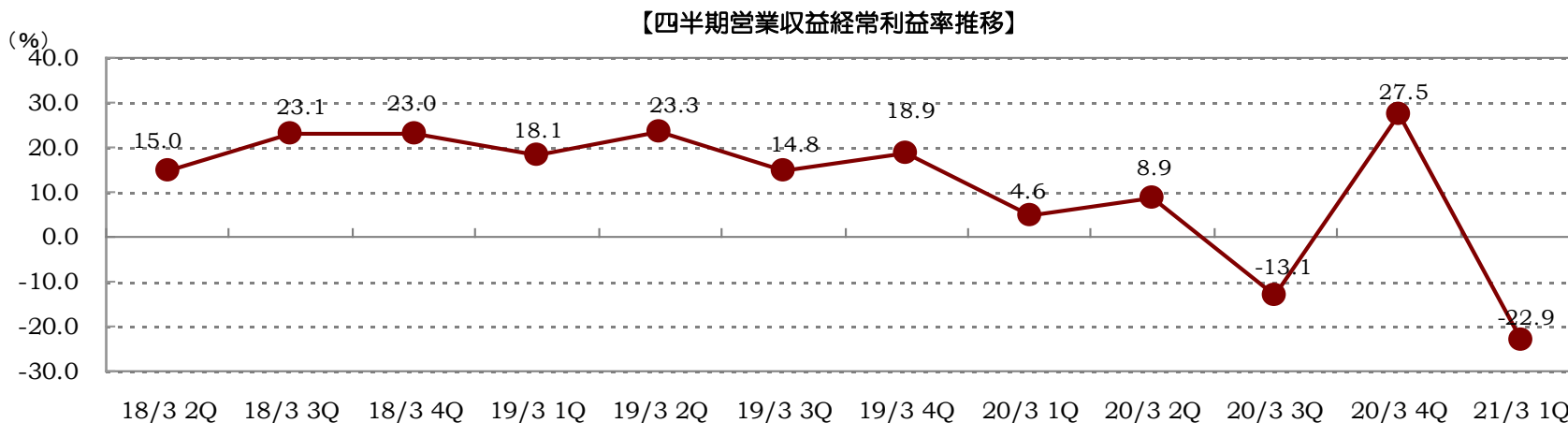
主要経営指標推移

Money Partners Group

ROE及び営業収益経常利益率推移



※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$



Ⅲ.2021年3月期第1四半期の重点施策の進捗状況



当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

収益

- ★ 収益性の継続的改善

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group



第1四半期開業予定も新型コロナの影響を受け予定より少し遅れましたが

7/7 暗号資産交換業として登録完了

7/20 10億円の増資を行い開業に向けラストスパート

7/27 無事サービス提供開始！

MISSION

暗号資産を通じて、摩擦なく自由につながり合う世界を実現する

安 誠 宣
心 実 言

約束1 お客様の資産の安全を第一に考えます

約束2 安定的に約定成立できるサービスを目指します

約束3 お客様本位の価格配信を追求します

約束4 誠実でお客様の為になる情報発信に努めます



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group



【キャンペーン】

COINAGE

開業記念 **コイネージ大開業祭**

キャンペーン①
純入金額&売買代金
**100万円ごとに
3千円プレゼント**

キャンペーン②
買いスプレッド
実質無料

キャンペーン③
#コイネージ拡散で
1千円プレゼント

開業記念といたしまして、コイネージ大開業祭
【3大キャンペーン】を実施しております。

※キャンペーンにつきましては、各種条件等がございますので、ご応募の際はご確認ください。

【メディア】

暗号資産は分散化した社会のコミュニティ通貨だ

—暗号資産を取り巻く今後の状況をどう見ますか？

【奥山氏】番目に、パブリックブロックチェーンの未来を信じています。そのブロックチェーンの燃料であり血液であるもの、行き交うものが暗号資産、クリプト（暗号通貨）な訳です。その未来を信じなければデジタル化は発展しません。



コイネージの仮想通貨取引サービス、奥山 CEO「ビットコイン愛を伝えていく」=ビットコイン反省会

1395 視聴



東証1部マネーパートナーズグループのコイネージ社、ビットコイン現物の取扱いを開始

CoinPost編集部

仮想通貨ウォッチ © 2020/07/27 16:17

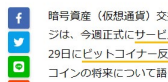
コイネージ、ビットコイン取扱い開始

東証1部上場マネーパートナーズグループで2社目の暗号資産（仮想通貨）交換業者ライセンスを取得したコイネージ株式会社は27日、ビットコイン現物（FPV）の取扱いを開始した。

コイネージは、2017年10月に仮想通貨交換所の開業を目的に設立された企業で、2019年6月に株式会社マネーパートナーズグループが完全子会社することを発表していた。

同社は、ビットコインに特化した取引所の方針を示しており、取引開始に伴い「コイネージ大開業祭」として、ビットコインの保有を応援する「買いスプレッド実質無料キャンペーン」や「純入金額&売買代金100万円ごとに3千円プレゼントキャンペーン」などを実施する。

プレスリリース



暗号資産（仮想通貨）交
渉は、今週正式にサービ
スに開始。29日にビット
コインの将来について語

暗号資産は法定通貨より規模が小さく、企業ポイントより大きいと
分散型社会のために価値をやりとりするツールです。分散化時代の多
をスケールさせるためのもの、そのコミュニティの血液が暗号資産リ
やという話です。
【上記記事掲載元】
INTERNET Watch
【上記記事URL】
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/interview/1263605.html>

【Twitter】

COINAGE(コイネージ)
@coinage_inc

いよいよ明日7/29 20時〜当社代表 奥山泰全が、YouTubeの「ビットコイン反省会」に出演させていただきます！
普段の取材やセミナーとは一味違うライブで、たっぷり語ります。ぜひ、ご覧ください！

COINAGE(コイネージ)
@coinage_inc

いよいよビットコイン反省会まで2時間を切りました！

20時から @Coin_and_Peace と当社代表 奥山がYouTubeライブで暗号資産について語ります。コメントやご質問もお待ちしています！ぜひ、ご覧ください

COINAGE(コイネージ)
@coinage_inc

ビットコイン反省会をご覧頂いた皆様ありがとうございます！
感想、ご意見、コメント頂ければ幸いです

youtu.be/Wo5LrjXJOY

#コイネージ #仮想通貨 #暗号資産 #ビットコイン
#bitcoin #マネバ



【特別放送】暗号資産交換業、業界団体、規制の実態に切り...
コイネージとマネーパートナーズ社の代表を務める奥山泰全さん
に特別にゲストに末にいただき、先日業登録を完了したコ...
youtube.com

午後10:27 · 2020年7月29日 · Twitter Web App

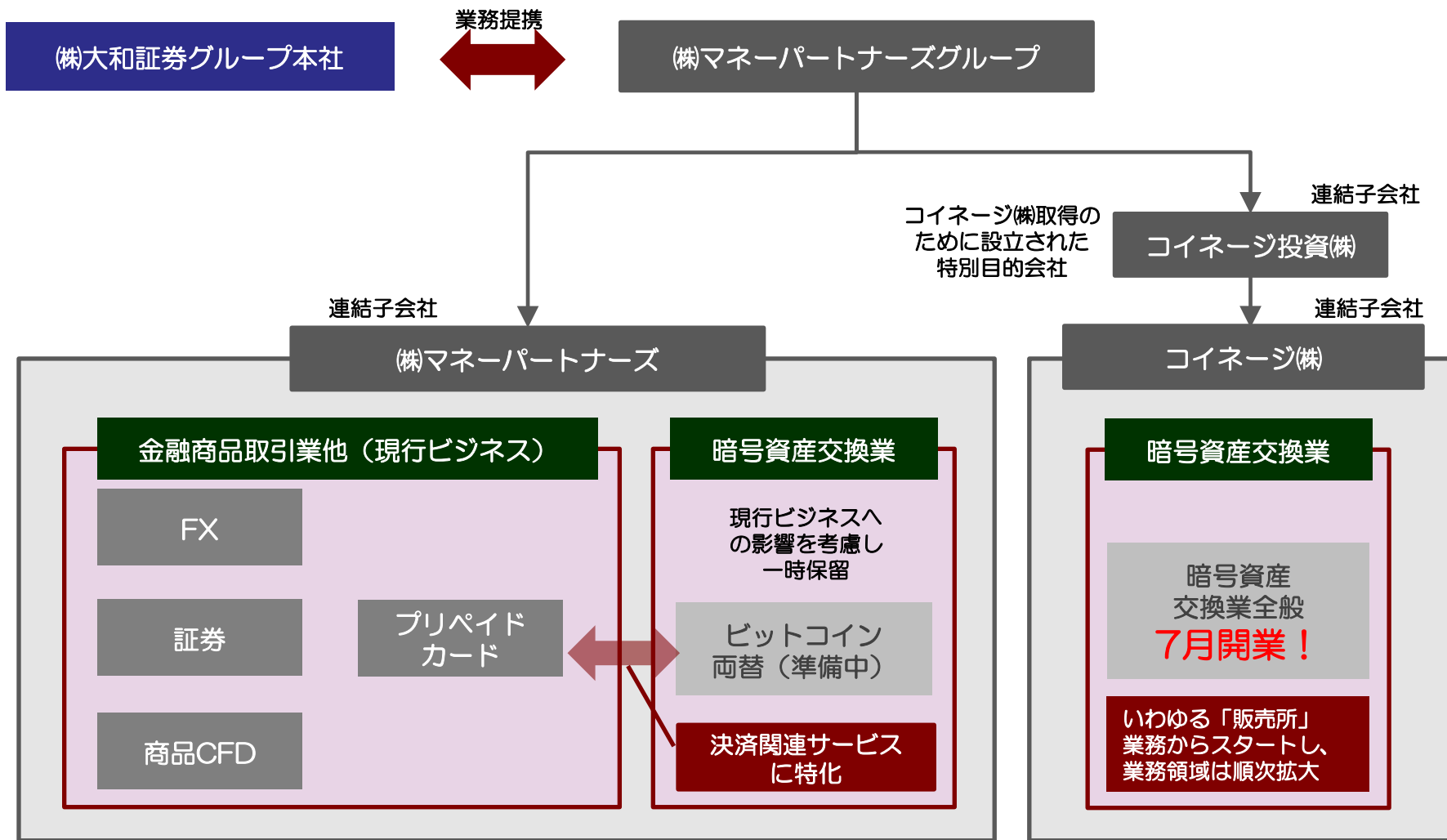
開業に伴い多くのメディア様に掲載いただきました。
Twitterではお客様から多くのお声をいただき、また、
ビットコイン反省会等の当社イベント告知するなど、
情報発信も随時行っております。



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

暗号資産（仮想通貨）について





重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

取引拡大、既存顧客の囲い込み

FX

創業15周年キャンペーン

これまでのご愛顧へ感謝を込め、過去にお取引いただいたお客様に対するキャンペーンを実施。

第10号 2020.07.31

[受講者限定] デイトレードの基本

第9号 2020.07.24

[受講者限定] 目標や理想となるトレードとは?

第8号 2020.07.17

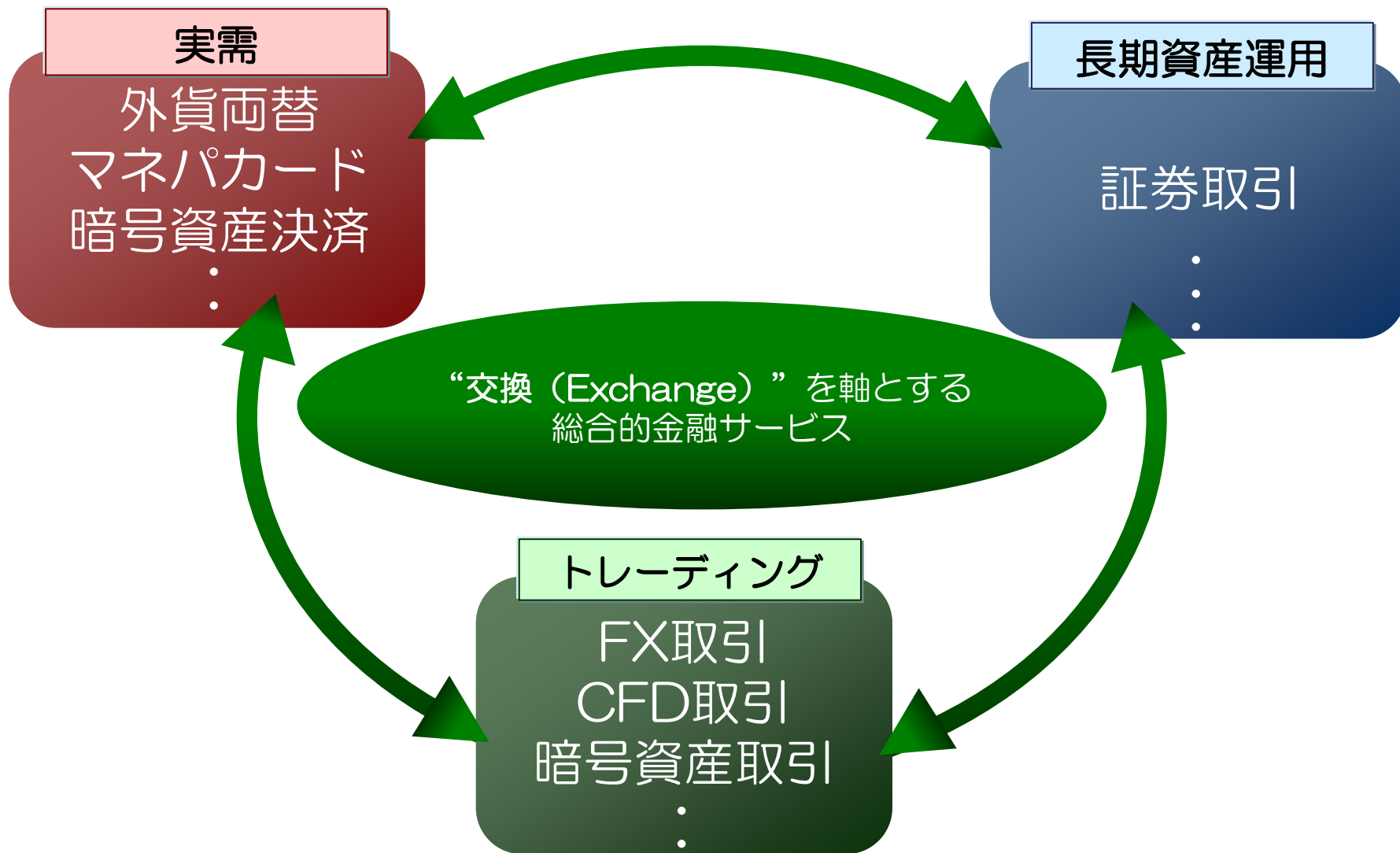
[受講者限定] 勝率50%は難しくない!? 勝率の上げ方は?

積極的な情報提供・投資教育

当社代表によるセミナー等を積極展開し、顧客満足度やロイヤリティの向上を図る。

IV. 今後の目指すべき方向性





V.当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率（ROE）及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2021年3月期第1四半期（2021年4～6月）のROEは▲6.7%

※：四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE（年換算）＝（四半期純利益×4）÷（（四半期期首自己資本＋四半期期末自己資本）÷2）×100

▶ 2021年3月期第1四半期（2021年4～6月）の営業収益経常利益率は▲22.9%



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向・・・連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会・・・**中間及び期末**（年2回）

	2020年3月期				2020年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
当期純利益（百万円）	38	57	▲190	344	▲223	—	—	—	
上段：3ヶ月	38	95	▲94	249	▲223	—	—	—	
下段：累計									
配当金の総額（百万円）	65		97		—		—		
期末発行済株式総数（株）	33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		—		—		
1株当たり配当金	中間・期末	2.0円		3.0円		未定		未定	
	年間	5.0円				未定			

※当社は第2四半期末及び期末を基準日として剰余金の配当を行うことを基本方針としており、過年度に実施した配当実績を鑑み安定した配当を継続的に実施することを基本とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を配当性向の目途としつつも、新規事業の準備に係る先行費用が当該事業年度の配当実施額を押し下げないよう相当分の配当性向上乗せや財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定しております。



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額（スプレッド）があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料（消費税込み）、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円（消費税込み）をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ（金融商品取引業者・商品先物取引業者）

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長（金商）第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

当社の提供する暗号資産取引のリスク等重要事項について

- ・当社の取り扱う暗号資産は、本邦通貨または外国通貨ではありません。また特定の国家または特定の者によりその価値が保証されているものではありません。暗号資産は代価の弁済のために使用することができますが、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限りです。
- ・取り扱う暗号資産については、こちらをご参照ください。
- ・当社の提示価格には買付価格と売付価格の差（スプレッド）があります。スプレッドは暗号資産の価格の急変時や流動性の低下時には拡大することがあり、お客様の意図した取引が行えない可能性があります。
- ・暗号資産の価値は暗号資産取引の需給バランスとともに様々な外部環境の変化により日々刻々と変動しています。天災地変、戦争、政変、規制強化、他の類似の暗号資産の相場状況、また予期せぬ特殊な事象などにより暗号資産の価格が急激に変動し大きく下落する可能性があり、結果として暗号資産の価値が購入時の価格を大きく下回るおそれがあります。また、法定通貨との交換が完全に停止する措置がとられるなどの場合、暗号資産の価値がゼロとなる可能性もあります。そのため取引対象である暗号資産の価格の変動により損失が生ずるおそれがあります。
- ・本取引の取引システムまたは当社とお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、処理の遅延や注文の発注、約定、確認および取消等が行えない可能性があります。
- ・お客様からお預りしている暗号資産が、サイバー攻撃等によるハッキング・盗難その他の理由により不正に流出または紛失する可能性があります。お客様への補償を行わなければならない事態が生じた場合、当社の財政が破綻し、お客様に十分な補償を行うことができない可能性があります。
- ・お客様からお預りした金銭および暗号資産は当社の金銭および暗号資産と分別して管理しています。（詳細は「取引説明書（契約締結前交付書面）」の『5. 利用者財産の安全管理方針』をご覧ください。）

①金銭の管理

楽天信託株式会社へ金銭信託を行い、自己の資産とは分別して管理しております。

②暗号資産の管理

- ・当社がお客様用として管理運用するマルチシグ対応のコールドウォレットにて、お客様からお預りした全ての暗号資産を自己の暗号資産と分別し、お客様ごとの保有数量が帳簿により直ちに判別できる状態で管理しております。
- ・当社および暗号資産の流動性供給者（カバー取引先）、または当社預入の金融機関の業務・財産の状況が悪化した場合、お客様資産の返還が困難あるいは遅延することで、お客様に損失が生ずるおそれがあります。
- ・その他暗号資産取引に関するリスクの詳細はこちらをご覧ください。
- ・手数料やその他費用等はこちらをご確認下さい。各種手数料については当社で適宜変更できるものとします。
- ・ハードフォークへの対応およびハードフォークにより新たに作られる暗号資産に関する対応については、「取引説明書（契約締結前交付書面）」の『6. ハードフォークおよび新コインへの対応』をご覧ください。
- ・お問い合わせ、苦情または相談先、指定暗号資産交換業務紛争解決機関についてはこちらをご覧ください。

商号等：コイナージ株式会社

暗号資産交換業者登録：関東財務局長 第00021号

加入協会：一般社団法人日本暗号資産取引業協会

2021年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ